

磐城時報



成弘田岡 人刷印人行發業輯 地番四一町屋紺市平縣島福
社報時城磐 行發 地番四一町屋紺市平縣島福



謹賀新年



新年奉祝年頭の辭

平市長 青沼 鋒太郎

皇紀二千五百九十八年の新春を迎へ旭旗萬戸に翻り端雲天に漲る聖代に生き享け茲に恭しく御壽の無窮と國運の隆昌を頌へ平市民各位と共に祝賀の式を行ふは不肖の最も欣幸とする處であります。

伏して惟るに萬世一系御聖文武。今上天皇陛下には御乾德愈々高く。皇后陛下には倍々御仁慈恪く。御坤德淑かに皇太子殿下を初め奉り各宮殿下御健かに拜し奉り寶祚の彌榮と天壤と共に窮りなき皇室の御繁榮を壽ぎ奉りま。事は誠に慶祝に堪へざる次第であります。

仰も人道を尊重し正義を擁護し人類の平和と國際親善に寄與するは大和民族の使命であると同時に我建國の大精神でありまして、今や滿洲國は日滿不可分の關係を持續して鞏固なる獨立國家として益々健全なる發展を見るに至りましたが異戾なる彼の匪賊は未だ終熄せず、ソ滿國境の防備は寸時も忽緒に付すべからざる情勢に置かれておるのであります。加之七月七日勃發したる支那事變は帝國不動の國策たる東洋長久平和の上に一抹の暗影を投するに至りまして我帝國は斷然起つて破。顯正の劍を振り征戰茲に五ヶ月余或は北支に或は江南に轉戦又轉戰朝に一城を陥れ夕に一壘を拔き皇軍の征々處空に陸に將た海に連戰連勝河北山西難險上海江南の堅壘相踵いて陥落し終に舊臘十三日難攻不落を誇る抗日の首都南京を陥れ武動赫赫かしき戰果を収めました事は元より。天皇陛下の御稜威の然らしむる事は曰すも畏き極みでありますが我忠勇無双の出世將士が烈々たる盡忠報國の赤誠に燃ゆる奮闘努力の結果でありまして吾々國民の感謝感激措く處はざる處でありますと同時に。白衣の將兵、護國の華と散つた無言の凱旋幾多勇士の英靈に接し衷心より黙禱感謝を捧げ益々銃後の護りを固うし。報國の至誠を効し國民精神總動員の趣旨を體して實踐事項の普及徹底に努力し今後皇運を扶翼し宸襟を安んじ奉らなければならぬ。確く信するものであります。而して帝國は獨逸と防共協定を結び。又世界の強國伊太利も之れに參加し日獨伊三國防共協定成立致しまして共產主義の排撃強化に進んで居ります。最近新聞の報する處によれば彼國防共協定が動機となり日本のフランコ政権承認となり更に滿洲國續いてポランド其他の國に於いても承認する事となつて共產黨の擊滅遠からざるを想はしむるものであります。

而も支那の現状は多年民衆を搾取し抑制強壓し偽購政策を把り來りたる蔣介石政權及國民黨の轉落と共に、北支にも中支にも民衆自身のための新支那誕生の聲が訪れて居ります。既に北支には中華民國臨時政府が樹立されてその陣容を整ひ、上海にも大道自治政府が成立し北支の各自治機構が北支の臨時政府を樞軸として之れに聯合したるが如く舊臘二十三日には陥落日尚ほ淺き南京に於ても南京の復興民衆の安居樂業國民黨政權の完全なる絶縁抗日容共分子の一掃親日政權の確立等を目標として自治委員會の組織を見るに至りまして今事の支那事變の武力戦に於ける前途は南京陥落を一段階として稍々見透しが付いたとは申すもの、現下に於ける東亞を繞る國際情勢は經濟戰に思想戰に極めて微妙複雑でありまして事態の推移決して豫斷を許しませぬ、従つて國民の覺悟も亦一段の緊張を要する秋であります。

竊て本市の過去を顧みまするとき劃期的の事業と言ふべき市制施行も多少の迂餘曲折はありましたが舊平、平窪兩町村協定成立の結果其の筋の承認する處となり昭和十二年五月二十二日內務大臣は六月一日より兩町村を廢し平市を設置するの告示を發布せられ茲に平市の誕生を見たのであります。爾來手續きを完了致し自治運営の機構も整備致し着々市の發展を期しつゝありますが市制施行後間もなく支那事變勃發に依り益々重大を加へ従つて市としての計劃等に關しましては遺憾の點もなきならず偶々不肖之しきを市長に承りこの重責を果すを得るや否や只その及ばざらん事を恐れ衷心忸怩たるものがあるものであります。希くは市民各位一層の御援助あらん事を切望する次第であります。舊平町の懸案たりし公會堂の建築も着工中でありましては相當の建物でありますから監督を厳正にし細心慎重の注意を拂ひ年度末迄には竣功する豫定であります。其他商業學校の改築、第四小學校の増築、第五小學校の新築、平窪方面に於ける道路改良の計劃、農工商業の積極的指導獎勵等々實現を期せんとして居ります。又今後に於て施行せんとする事業の概要を擧ぐれば都市計劃の實現、下水道の完成、市廳舎の改築、社會事業の施設、經營等市としての設備は之れを算へれば數指を屈するに至りますが之を要するに財政の經理亦決して容易のものではありません。されば籍すに相當の時日を以てする事を諒とせられん事を望むものであります。希くは將來市民各位の深甚なる援助に信頼いたし戮力一致共存共榮平和圓滿裡に明朗なる平市の建設に邁進致し以て福利の増進に努め市民生活の向上發展を圖らんとするものであります。

昭和十三年元旦

寅歳の春を迎へ 歡喜に満つる人々

世界館主鈴木寅次郎氏

六十一歳寅歳の春を迎へて口仁太郎氏を補佐し今日の歡喜に満ちてゐる人に活動確固たる組合の基礎を築いた常設世界館の主人鈴木寅次郎氏。その後現次郎氏がある。現在では東在の世界館を經營遂に北日京・仙臺間に於ける松竹映本代表の常設館として重き畫上映の代表的常設館世界を爲すに至つた、氏は趣味館の經營者としてその名をとして義大夫を好み竹本錦知られてゐるが、氏は元鐵錫の藝名で廣く同好者に知られてゐる。氏は十四年間勤務られ素人離れの名人と言は模範鐵道員としてその退職してゐる。過般は息子の御借しを借し、再退して目出度がありその結婚式の料理亭々喜亭を市内田町に費用を省いて公共事業に寄開業、その間料理屋組合常附した等奇特な人である。

東北隨一の家具商 丸はん佐々木俊男氏

平市三丁目丸はん家具店主佐々木俊男氏は三十七歳の寅歳生れ、丸はん家具店と言へば東北唯一の家具店としてその名を知られてゐる。縣下各官廳會社は勿論縣外にまで納品し信用を博してゐるが、數年前からは希望によつて仙臺市東一番町に分店を設け同地方の需要に應じてゐる。現在の使用職工百餘名を突破してゐる優勢ぶりである。

平消防小頭 鈴木彌太郎氏

鈴木彌太郎氏は四十九歳、二十餘年間平消防組に盡忠し現在では庶務主任を勤めたる、平市會議員として、平市政會に重きをなしてゐる。

谷屋と言へば内容充實した老舗として信用を博してゐる、喜太郎氏は嘗て平青年團修養部長、新川町青年團長として七年間奮闘した人である。

平市會議員 大谷武雄氏

平市三丁目大谷時計店主大谷武雄氏は四十九歳、父大谷久藏氏の跡を繼いで業を勤み押しも押されぬ大立物である。平市制實施に當り自治に參照してゐる。平時計商組合長である。

平市會議員 松崎松治氏

平窪、松崎松治氏は七十二歳、氏は地方政友會の重鎮として羽振りを利かした人である。平窪村長三期を勤め現在は平市會議員、市參事會員として重きをなしてゐる。磐城小川江筋組合議員、福島モーター専務取締役である。

戦捷祝賀 新年會

平市では例年元旦に官民合同で名刺交換會を開催してゐるが本年は時局の變遷を變へて戦捷祝賀新年會とし元旦午前十時から第一小學校講堂で名刺交換會を開催するが、参加五百余名に達する見込みである。開式、國歌、萬歳を三唱して散會する。

謹賀新年

平市紺屋町
吉田寅之輔
電話四七六番

平市一丁目
坂本紙店
電話一八番

平市二丁目
根本時計店
電話六〇七番

平市紺屋町
織田材木店
電話四六〇番

平市組屋町
上原家政婦會
電話三二二番

平市二丁目
大村屋旅館
電話一七五番

平市古鍛冶町
木澤常松

平銃砲火藥店
渡邊貫一

平市新川町
グリル・パッカス
平・三丁目

平市新川町
田中宣治
電話五六七番

謹賀新年

石城勿來町
大平陸四郎

安島重三郎

平消防組頭
井上茂作

水野化粧院
平驛前 電話六七八番

保証責任
江名販賣購買組合

平市田町
大塚製靴部
大塚 運動具部
電話七七番

平運輸株式會社

堀江工業株式會社

恭賀
新年
魚店
平土橋 (電六六二)
鈴木藏太

福島縣齒科醫師會長

萩原義雄
平市南町 電話二五九番

平市會議員新興會

大日本電力平營業所

平驛前
昭和タクシ
電話三四〇番

賀正
活動常設
世界館
電話四四六番

平市鎌田町 (電話六八八)
金成自動車部
金成國雅

山崎合名會社

有限責任
信用組合
平庶民金庫

平市田町 (電話二九七番)
平電力株式會社
社長 栗原欣次郎

好間軌道自動車部
平市古鍛冶町 (電話四三三番)

磐城無盡株式會社

戰捷新年を迎へて 張り切る興行界

世界館・平館競演

戦捷新年を迎へて市内活動篤風雲の巻「ニューバール」常設館では互ひに負けじと映演大高潮は高原活劇名犬優秀映演や傑作元旦から幸と猛獣の争闘の場面、その先きよく開演する管で「ア」他演劇、朝日支社事變ニシムも亦久しに訪れた最新映演の外朝日新聞社の近の興行界好調の気分を刺戟する特演が人気を呼ばれて新春勢の映演を待たぬでゐる。世館では三十一日から初五日間の興行として松竹特作「キ」女醫網代先生」を上映する、過般平して割れるやうな人気を博した田中網代が主演女醫網代に扮する。

元日詣り

平野屋組合、料理屋組合が、その間日本無産黨の聯合して元日早朝縣社子鑑検査で全国的に名を知られ、若神社に詣り組合員の中の出た敏腕家である。

小生去る六月十一日歐米視察の途に上り十二月四日無事歸朝仕候、外遊中祖母、母の不幸有之目下服喪中候ため年賀の禮を欠き申候尚御諒承願上候

成田儀六

平土木請負業組合

東京市葛飾區立石町本田町

三井榮一

小名濱漁業合

組合長 水野政次郎

石城郡好間村

石城鑛業株式會社

平館では世界館同様三十一日から四日迄五日間「軍神乃木さん」を上映する、日活超特作浪山映演で春日井梅鶯が口演する、山本嘉一派の熱演にかゝる。阪東妻三郎主演の巖山彦「前

征軍人九名の武運長久を祈願し謹々札を送る由である

成章校

バザール開催

小名濱町立成章女學校では一日、二日兩日生の製作品バザールを開催するが、出品一千余點に達すると。

中里檢事

二日赴任

平野屋支部檢事の中里建夫氏は二日横濱地方兼區檢事に榮轉赴任する。氏は平任僅か三ヶ月に過ぎなかつ

石城郡内病醫院 (順序不同)

鈴木耳鼻喉科醫院
平市田町 電話五八番

中野齒科醫院
平市田町 電話五〇九番

木村病院
平市新川町 電話一四

小林醫院
勿來町 電話四八番

難波醫院
平市大町 電話五〇二番

井坂産科醫院
平市田町 電話五五九

丹野齒科醫院
平市田町

織田齒科醫院
平市田町 電話四一六番

明雲堂眼科醫院
平野前 電話六六九番

實川産科醫院
平市田町 電話二七〇番

市原醫院
平市田町 電話一四番

佐藤齒科醫院
平市四丁目 電話五〇八

志賀齒科醫院
平市大工町

木村外科醫院
平市五丁目 電話三〇九

平醫院
平市田町 電話一九八番

安齋外科醫院
平市田町 電話四七五番

森合齒科醫院
植田町 電話七二番

前田醫院
植田町 電話二四番

五十嵐醫院
平市新川町 電話三七〇

平土木請負業組合

平寫眞師會

平看護婦會

平川理容所

宮川幸吉

岡田ミルクプラント

豐間漁業組合

洋食・喫茶 コンパル

鈴木自動車部

和泉屋旅館

石城中小商工互融會

乾産業合資會社

友部株式會社

二本松電力株式會社

二葉印刷所

大黒屋

藤寅

樺田榮太郎

平材木商業組合

<p>關彰商店平支店 平市二丁目 電話六一番</p>	<p>平市松ヶ岡公園 割烹 とさきわ 電話二五一番</p>	<p>平市長橋町 小野園次郎商店 電話一二六番</p>	<p>旅館 甲陽館 平驛前 電話二四八番</p>	<p>平市二丁目 大 一 屋 電話十三番</p>	<p>縣會議員 早川清久</p>	<p>平市四丁目 鶴屋洋品店 電話一四〇番</p>	<p>江名漁業組合 組合長 加澤一造</p>	<p>豐間村長 鈴木藤次郎</p>	<p>平市二丁目 なかや洋服店 電話二〇三番</p>
<p>平市田町 御料理 春の家 電話三〇番</p>	<p>平市南町 割烹 松本樓 電話一一三番</p>	<p>平市田町 御料理 魚 榮 電話四二四番</p>	<p>平市鎌田町 直 草野染工場 電話三四八番</p>	<p>平市紺屋町 高木製綿所 電話四四二番</p>	<p>平二丁目 越 の 家</p>	<p>平市二丁目 魚清氷部 電話六三三番</p>	<p>平市白銀町 電六九五 生花商 花友 八田與市</p>	<p>平市田町 白菊廣瀬支店 電五四番</p>	<p>平市白銀町 丸山印刷所</p>
<p>平市二丁目 鶴屋旅館 電一二二番</p>	<p>平市三丁目 大谷時計店 電話一九番</p>	<p>平市 夕伊勢屋商店 電話四五番</p>	<p>平市極植小路 材木商 佐藤福太郎</p>	<p>御料理 谷口 電八番 一五六番</p>	<p>百澤商店 平四電二番</p>	<p>平市新川町 御料理 月廼家 電話三〇四番</p>	<p>平市白銀町 谷屋炭服店 電話四三七番</p>	<p>平市白銀町 ト印魚問屋 電話五二八番</p>	<p>平市田町 石川亭 電話四三番</p>
<p>平市田町 小川洋服店 電話五七〇番</p>	<p>平市田町 酒 福美醸造元 四家酒造店 内郷村高坂</p>	<p>平市砂糖商 同業組合</p>	<p>シンガー洋裁女學院 シンガーマシン會社 平市田町</p>	<p>活動 平館 常設 下水工事中には成田山脇 から御出入願ひませう</p>	<p>割烹 大 貞 平田町 電話四二三</p>	<p>平市三丁目 梓 す し</p>	<p>小名濱町 割烹 はまや</p>	<p>江名町長 作山 一枝</p>	<p>御旅館 やよい館</p>
<p>謹賀新年 吉田眼科醫院 吉田久雄</p>	<p>藤沼 醫院 藤沼平治郎</p>	<p>金成 醫院 金成忠義</p>	<p>酒井 醫院 酒井國三郎</p>	<p>大和田 醫院 大和田郡司</p>	<p>松村 醫院 松村鐵郎</p>	<p>星眼科醫院 星 恒明</p>	<p>鈴木眼科醫院 鈴木 亮</p>	<p>大河内 醫院 大河内 一郎</p>	<p>白土外科醫院 白土 德彌</p>
<p>平市田町 御料理 末 廣</p>	<p>水野 虎三郎</p>	<p>富永ラヂ才店 平驛前 電話四九六番</p>	<p>郡山無盡株式會社平支店 平市一丁目 電話四七〇番 平市城山 電話一〇七番</p>	<p>湯本信用無盡株式會社 支配人 井上貞次郎</p>	<p>磐城建物株式會社</p>	<p>佐藤商會 平市南町 電話三八一號</p>	<p>大床 石崎 幸一 平市山町 電一八八番</p>	<p>賀正 吉伴製作所 電話二二五番</p>	<p>平市研町 阿部材木店</p>
<p>平市田町 御料理 末 廣</p>	<p>水野 虎三郎</p>	<p>富永ラヂ才店 平驛前 電話四九六番</p>	<p>郡山無盡株式會社平支店 平市一丁目 電話四七〇番 平市城山 電話一〇七番</p>	<p>湯本信用無盡株式會社 支配人 井上貞次郎</p>	<p>磐城建物株式會社</p>	<p>佐藤商會 平市南町 電話三八一號</p>	<p>大床 石崎 幸一 平市山町 電一八八番</p>	<p>賀正 吉伴製作所 電話二二五番</p>	<p>平市研町 阿部材木店</p>
<p>平市田町 御料理 末 廣</p>	<p>水野 虎三郎</p>	<p>富永ラヂ才店 平驛前 電話四九六番</p>	<p>郡山無盡株式會社平支店 平市一丁目 電話四七〇番 平市城山 電話一〇七番</p>	<p>湯本信用無盡株式會社 支配人 井上貞次郎</p>	<p>磐城建物株式會社</p>	<p>佐藤商會 平市南町 電話三八一號</p>	<p>大床 石崎 幸一 平市山町 電一八八番</p>	<p>賀正 吉伴製作所 電話二二五番</p>	<p>平市研町 阿部材木店</p>

石城郡植田町
馬上守一

内郷村小島
薄硝子
牛乳壘 製壘所
水産類 製壘所
其他製壘

高久村
鈴木喜太郎
村長 鈴木喜太郎
助役 本馬 武

平市研町
阿部材木店

平市研町
阿部材木店

辯護士 門傳清吾

福好工業合資會社
自動車部
強口唯七郎

平市研町
阿部材木店

謹賀新年

小室萬五郎

四倉町字原田

合資 四倉同貨物自動車商會

四倉町仲町 電話一〇一六番

消防組組頭 新妻祐一

醬油釀造 鱗屋合名會社

四倉新町 電話百〇八番

保證 四倉信用販賣利用組合

電話百三十六番

四倉町長 新妻盛

保證 大野信用販賣利用組合

大浦村消防組組頭 根本榮吉

保證 久之濱信用販賣利用組合

酒銘 福美 四家酒店

四倉仲町 電話一四五番

大日本電力株式會社 四倉變電所

電話六六番

四倉合同運送株式會社

四倉驛前 電話二二番

四倉藝妓屋組合

電話三十一番

大浦村役場助役 渡邊周平

四倉小學校 職員一同

江口清

四倉町原出

四倉産婆組合

組合長 松本キーン 外組合員一同

吉田醫院

院長 吉田正 副院長 佐藤尚輔

大野第二小學校

校長 高崎竹藏

外職員一同

大野村第一小學校 校長 鈴木龜之助

酒銘 稻妻 古川支店

四倉新町 電話十番

大野村役場 村長 吉田保之助

大久村消防組組頭 根本六郎

四倉仲町

植田材木店

貨物自動車部 電話一三三番

酒銘 小錦特約店 松本屋酒店

店主 鈴木茂 電話六十二番

酒銘 松本屋酒店

酒銘 小錦 松本屋酒店

電話六二番

西山眼科醫院

四倉本町郵便局向 電話一五一番

水野屋本店

四倉本町 電話七番

海氣館

館長 豐田美孝 電話五番

四倉鶏鳴會 會長 青木公丸

旅館 藤屋

高木勝太郎 大野村湯の澤

荒物雜貨 大須賀商店

四倉仲町 電話百〇三番

御料理 一心

四倉町 電話七四番

額賀醫院

四倉新町 電話四番

四倉驛前 鈴木牛乳舎

電話一五四番

四倉タクシー

驛通り 電話八番

四倉タクシー

四倉町消防組 組頭 金成岩吉

四倉料理屋健康組合

組合長 新妻吉重郎

日華生命保險株式會社 濱三郎事務所長

大谷義隆

東洋海上 四倉町原田 火災代理店

白石屋吳服店

久之濱町 電話九番

大浦村役場 助役 長谷川林平

收入 遠藤安次郎

紙屋吳服店

四倉仲町 電話一二二番

時局柄年賀の禮 遺慮仕り候 大浦村小學校

職員俱樂部

年中無休

鈴木太平肉店

四倉新町 電話一四六番

大久村役場 村長 石川倉吉

助役 飯島助藏

收入 飯島助藏

時局柄年賀の禮を 遺慮仕り候 大浦村役場

大浦村役場 村長 木村清治

大浦村役場

久之濱町役場 町長 新妻定藏

助役 村岡敬二郎

收入 鈴木元十郎

豐岡鐵工所

四倉町新町 電話百十番

大野村役場 助役 荒川庸幸

收入 草野眞平

草野小學校 校長 大平喜一郎

外職員一同

大浦村々會議員 (順不同)

渡邊貴一 高木林平 會川利作 佐藤啓次郎 磯井初三郎 愛川軍治 吉本甚吾 根野保壽 小野好衛 新妻辰尾 根本助三郎

候仕慮遠禮の賀年柄局時

且元月一年十和昭

玉屋洋品店

平市田町 電話六五六番

魚清食堂

平市二丁目 電話六三三番

ハシモトヤ絲店

平田町 電話十四番

吳服商 松本榮一商店

平市大町 電話四五八番

煉炭、豆炭 常陸セメント 酒井伴城商店

平驛前 電話六六一番

株式會社 平魚市場

小名濱町 水野罐詰工場

水野徳次郎

株式會社 西山商會出張所

平市白銀町 電話四二五番

平市會議員

鈴木光吉 高橋龜松 松本徳一 吉田寅之輔 吉村安治郎 佐藤幸太郎

芳香園理髮器具店

平驛前 電話六八〇番

佐川洋服店

平市三丁目 電話四一八番

平病院

院長醫學博士 鈴木定藏

恭賀新年

<p>平製氷株式會社</p> <p>社長 木村清治 事務取締役 松本一郎</p>	<p>衆議院議員 比佐昌平</p>	<p>衆議院議員 星一</p>	<p>縣會議員 小野晋平</p>	<p>縣會議員 野崎滿藏</p>	<p>縣會議員 關內正一</p>	<p>縣會議員 蓮沼龍輔</p>	<p>縣會議員 小松章</p>	<p>縣會議員 草野三郎</p>
<p>石城郡好間村 小田吉治</p>	<p>古河好間鑛業所</p>	<p>磐城炭礦株式會社</p>	<p>入山採炭株式會社</p>	<p>釜屋商店 諸橋久太郎</p>	<p>平鐵工工業組合</p>	<p>豐間大敷網事務所</p>	<p>石城郡好間村役場 村長 金成淺治 外吏 員一</p>	<p>石城郡大浦村 木村清治</p>
<p>時局柄賀狀欠禮申上候 佐藤庄太郎</p>	<p>小名濱水產株式會社 社長 水野政次郎 事務取締役 佐藤作平</p>	<p>小名濱礦油株式會社</p>	<p>石城郡植田町 古川傳一</p>	<p>平市長 青沼鋒太郎 助役 伊藤秀吉 課長 酒井寅之助 草野常彌 四家久米治郎 西野源次郎</p>	<p>賀正 合資會社 田邊商店 平市白銀町(電話二九四番) 田邊製作所</p>	<p>柏原幸次郎</p>	<p>福島縣自動車協會平支部</p>	<p>辯護士 眞木桓</p>